

いけちゃん農園に
関するお知らせ新聞です。

発行日 平成23年10月1日
発行者 株式会社いけちゃん農園
代表取締役 池田一夫
新居浜市内町3-11-24
電話 0897-33-8313
FAX 0897-33-8319
IP-phone 050-3537-8311
E-Mail info@ikechan.co.jp



農業生産法人設立のご挨拶

株式会社いけちゃん農園
代表取締役 池田一夫

農業生産法人の株式会社いけちゃん農園です。有限会社池田食品工場の農業班として営業していた部門を独立した農業生産法人として設立し、昨年六月より営業を開始しています。

全圃場有機JAS認定圃場に

現在のところは当農園が管理している農地は二町三反程度で、主に野菜を生産しています。現在の時点では、全圃場で有機栽培の基準で栽培していますが有機JAS認定圃場は約四反です。それ以外の圃場も認定が取得できるようになった時点で順次追加申請して行き有機JAS認定圃場として行く予定です。

難問山積み まずは今年度黒字化

販売先としては、まだまだ池田食品工場が今まで通り主力取引先となります。

- (1) 農業生産法人が事業を継続していくということは、高品質の農産物を計画的に栽培し
- (2) 農業で売上を伸ばし、
- (3) 生産性を高め、
- (4) 利益を出してゆく

ということができなければ不可能になります。現実問題としては、設立当初管理していた圃場の面積では、人件費を支払うことのできる売上にも満たないことが分かり、現在圃場の面積を六反から二町三反まで拡大しています。

目前の問題としては、新たに借りた圃場はほとんどが耕作放棄地であったため、土づくり、防草抑草対策に堆肥、肥料と資材など先行投資が必要になってきました。草対策に人海戦術で草をひいて人件費を掛けるのか、防草対策で資材に投資するのか、また規模拡大に伴い農業機械の大型化、省力化にと設備投資が続いています。

波乱続きの船出となった農業生産法人ですが、2年目となった今期は計画栽培、安定生産、売上向上によって黒字経営を果たします。

農園の発展がお客様や地域の笑顔に

農業生産法人の設立・継続によって、一つ目にはハローランチや幼稚園給食のお客様においしくて安全な有機栽培の野菜を使ったお弁当をお届け

けできるようになります。二つ目には、事業を拡張することによって、新居浜市内の耕作放棄地が減少し、環境問題や温暖化防止に貢献することが出来ます。三つ目には、地元の農家や消費者に有機農業と有機農産物の魅力を知ってもらい、意欲と関心を持ってもらうことができれば、地元の農業が元気になるのではないかと期待しています。

おいしい野菜でおいしい商品を

今後は安全な野菜であることは当たり前で、栄養価、食味ともに良い美味しい有機農産物の生産加工に努力して参ります。

具体的には、有機JAS野菜を使った漬物、冷凍の有機JAS野菜やコロッケなども販売できるようにしたいとも考えていますし、地元の飲食店やレストラン、介護施設、病院で有機農産物を求めているところにも野菜と加工品を販売し始めたいと考えています。



いけちゃん農園
取締役 高石直也

僕は「オセロ」です。いけちゃん農園の保安部長です。

農業に携わって早2年が経ちました。何も分からない素人から始まって悪戦苦闘の末、少しずつですが形あるものが出来てきたように思います。皆様に安全で美味しく栄養価の高い野菜をお届けできるようこれからも勉強&実践を心がけていこうと思います。



いけちゃん農園
取締役 池田真実

就農して1年半になります。はじめよりもできることや理解出来ることも増えてきました。日焼けを気にしつつ作業に励みます。

クイズなので景品はどっさり用意します。
次の〇〇〇〇〇ひらがなと〇〇〇にカタカナを入れて下さい。

<問題>

新居浜市で第一号の農業生産法人の名前は

株式会社〇〇〇〇農園です。

そこの保安部長はボーダーコリーの〇〇〇です。

正解の方の中から10名の方に「地の野菜詰め合わせセット」をプレゼントさせていただきます。

応募の締め切りは10月31日です。

メールかFAXでご応募ください。

応募の際は①答え、②お名前、③会社名と部署名または幼稚園名とクラス名、④ご住所、⑤電話番号、⑥E-Mailをご記入ください。

メールでご応募の際は件名を「46クイズ」として下さい。

info@ikechan.co.jp

FAX 0897-33-8319

